第2回中宮北小学校保護者説明会

～今までいただいていたご意見・質疑について～

令和2年11月29日、令和2年12月5日　学校安全課

これまでの経過等について

これまでの経過について

＜経過表＞

- 平成28年３月　審議会（第四次）答申「高陵小学校と中宮北小学校を統合し、高陵小学校敷地に統合校 を設置する。」
- ６月～７月　中宮北校区・高陵校区において答申の説明会実施
- ９月　中宮北小学校統廃合問題検討委員会（以下「中北検討委員会」という）との協議を実施
- 平成29年１月　中北検討委員会の勉強会に参加
- ３月　学校規模等適正化基本方針（改定版）（以下「改定基本方針」という）素案のパブリックコメントを実施
- ６月　改定基本方針の策定「高陵小学校と中宮北小学校を学校統合する」
- ７月　中北検討委員会と保護者、地域の皆様へ改定基本方針の内容説明
- 11月　高陵小学校の保護者の皆様を対象に学校統合に関する説明会を実施
- 12月　中北検討委員会と意見交換会を実施
- 平成30年２月　中宮北小学校の保護者の皆様を対象に学校統合に関する説明会を実施
- 平成31年２月～７月　高陵小学校法面調査
- 令和元年12月　高陵、中宮北校区合同説明会（高陵小学校法面調査の結果について）

中宮北校区との取り組みについて

中宮北校区

中宮北校区統廃合問題
検討委員会
を発足

新しい学校づくりに
関する地域の窓口

新しい学校づくりに関し、協議、検討

枚方市教育委員会

●枚方市教育委員会は、中宮北校区統廃合問題検討委員会を窓口として、新しい学校づくりに向けて説明会の開催方法等について協議を重ねてきました。

今までいただいていた
ご意見・質疑について

小規模校のままでよいとのご意見

- 少人数であることは行き届いた学習が保証され、教師もゆとりを持って子どもたちに接することができるというプラス面もある。
- 海外では少人数は当たり前と聞く。
- 現状の小規模校で何も困っていない。
- 小規模校の良い所をもっと伸ばしてほしい。

「新しい学校づくり」に取り組んでいく教育委員会の考え方

■きめ細やかな学習環境などの小規模校のメリットは重要であり、今後も持続させていく必要があります。

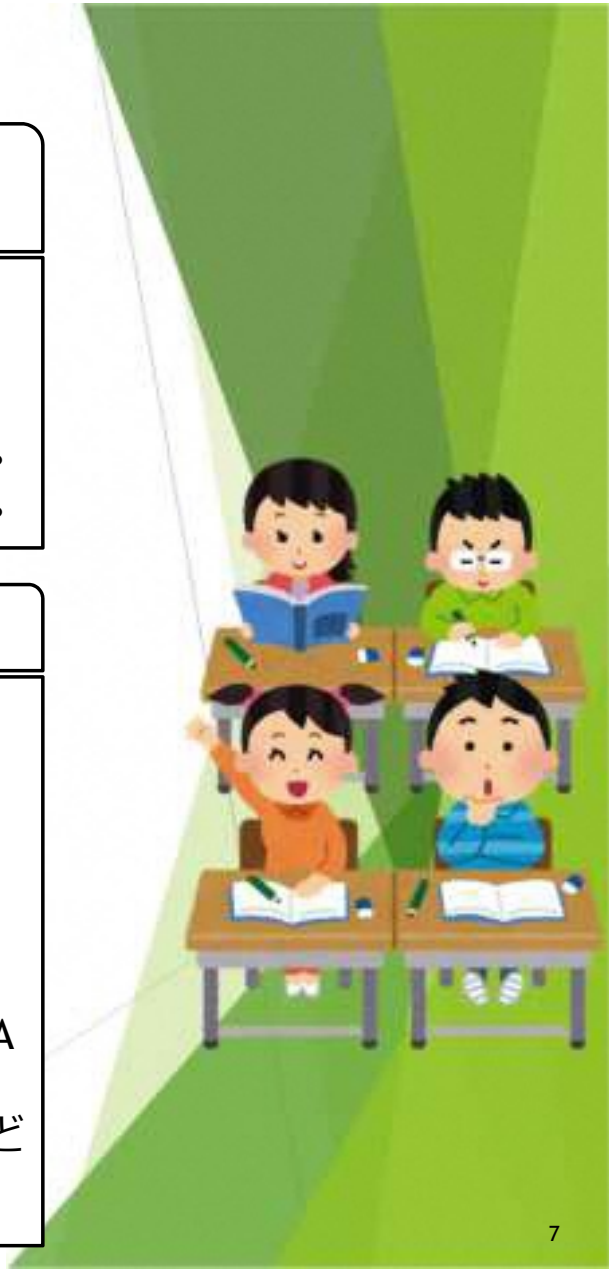
●本市教育委員会では、独自の少人数学級編成（1学級35人）を小学校4年生まで導入しています。
●児童一人ひとりの学習状況を把握し、きめ細かな指導を行うことにより、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、学習に取り組む意欲・態度を育成します。
●集団の中での成長と個に応じた指導における成長の両面を大切にしていきます。

■小規模校のデメリットは補う必要があります。

●クラス替え等の新たな人間関係を進んで構築する経験が少なくなる。
●友人関係の固定化や序列化を招くおそれがある。
●運動会、学習発表会等の学校行事の運営がやりづらくなる。
●教員間の教材研究や指導方法について、単独で取り組む状況になりやすい。
●小規模校は教職員が少ないので、出張や病気で授業に出ることができない時など、その補充が大変である。
●校外学習や宿泊学習等を実施する時のバス代や卒業アルバム作成費用、またPTA活動等における保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい。

・・・など

これらのデメリットを補うために、新しい学校づくりに取り組んでいます。



中宮北小学校と高陵小学校の現状

（R2年5月1日現在）

	幼児数						R２年度 小学校学年別児童数													
	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳	１年(35)		２年(35)		３年(35)		４年(35)		５年(40)		６年(40)		支援	学級
中宮北小								1		1		2		1		1		2	5	8
	44	57	43	41	37	35	(1)	27	(5)	25	(6)	40	(0)	25	(0)	38	(3)	52	(15)	207
高陵小								2		2		1		1		1		1	3	8
	26	34	36	31	35	36	(1)	38	(3)	38	(3)	32	(4)	23	(2)	31	(3)	26	(16)	188

※上段は学級数を、下段は幼児数・児童数を示す。また、（　）は支援学級員数を示す。

将来推計

		児童数・学級数の将来推移						枚方市人口推計調査（令和2年2月）				
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R10	R15	R20	R25	R30
中宮北小	学級数	7	7	8	9	10	10	11	6	6	6	6
	人数	190	189	205	208	240	257	269	197	166	153	146
高陵小	学級数	9	9	8	8	7	7	9	11	7	6	6
	人数	198	202	210	214	210	198	217	235	211	160	123

子どもたちに社会性や協調性を育成するためには、多くの児童と接することにより多様な考え方に触れることができる一定の学校規模を確保することが重要と考えており、両校を１つにする新しい学校づくりを進めています。

両校を１つにした場合の将来推計について

		R4年度　両校を１つにした場合の児童数・学級数						
		1年(35)	2年(35)	3年(35)	4年(35)	5年(40)	6年(40)	合計
新しい学校	学級数	3	3	2	2	2	2	14
	人数	72	71	65	63	72	48	391
	１クラスあたりの平均人数	24	24	33	32	36	24	

		児童数・学級数の将来推移				枚方市人口推計調査(令和2年2月)				
		R5	R6	R7	R8	R10	R15	R20	R25	R30
新しい学校	学級数	15	16	16	15	16	14	12	12	12
	人数	415	422	450	455	486	432	377	313	269

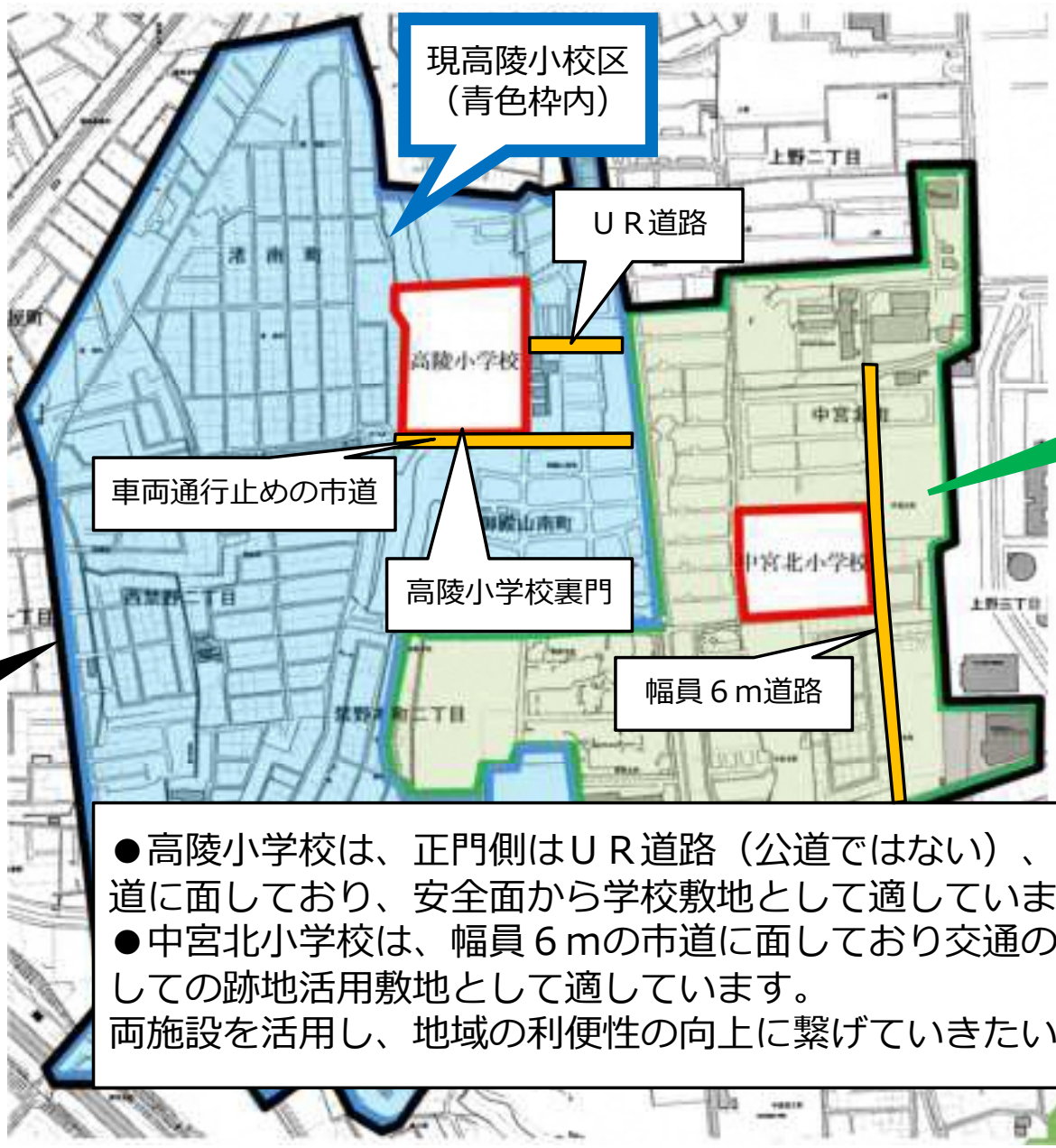
新しい学校は、20年後も適正規模の予測です。

この学校に通いたいと思っていただけるような、枚方市のモデル校となるような学校づくりを目指してまいります。

新しい学校の敷地についてのご意見

- 新しい学校の敷地はなぜ高陵小敷地なのか。
- 高陵小は法面のすぐそばに建っており危険だと感じる。

施設の活用
（地域の利便性向上）



●高陵小学校は、正門側はＵＲ道路（公道ではない）、裏門側は車両通行止めの市道に面しており、安全面から学校敷地として適しています。
●中宮北小学校は、幅員６ｍの市道に面しており交通の便が良いため、公共施設としての跡地活用敷地として適しています。
両施設を活用し、地域の利便性の向上に繋げていきたいと考えています。

ＵＲ道路

車両通行止めの道路

高陵小学校裏門進入口

災害時に対応するため、大型車両が進入できるように裏門の拡幅工事を実施します。

幅員６ｍ道路

中宮北小学校裏門

現在の裏門から新しい学校へと通じる通学路を確保するよう検討します。

コスト比較（概算）

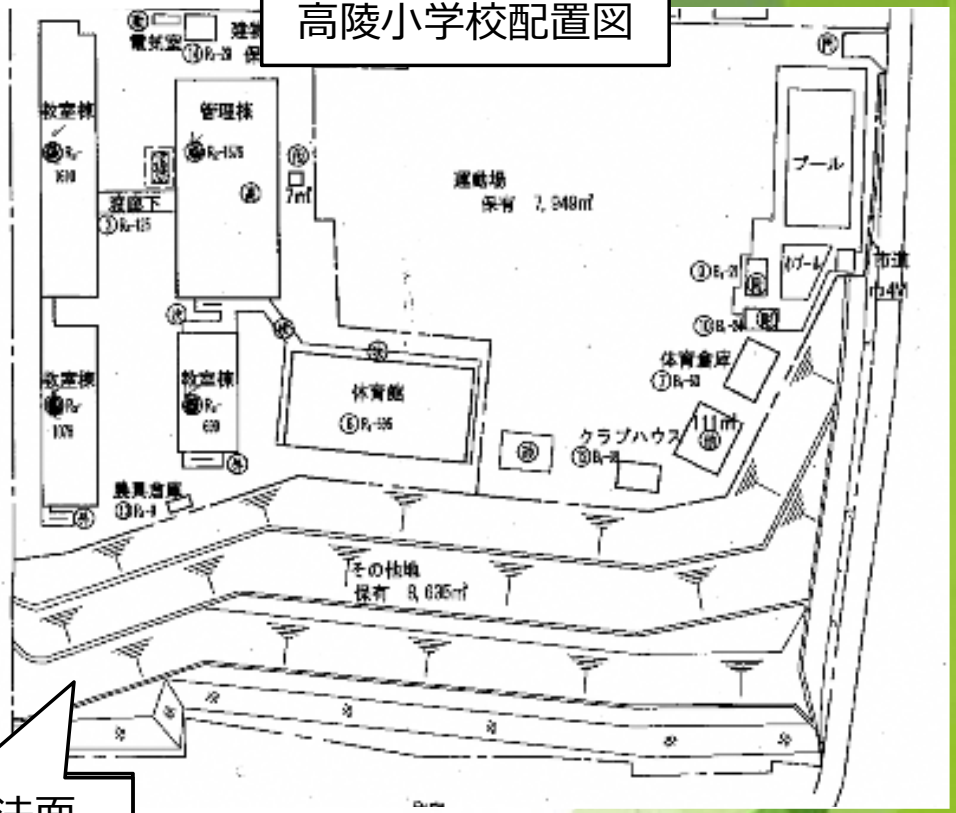
学校 （創立年月日）		中宮北小学校 （昭和55年4月1日）	高陵小学校 （昭和43年4月1日）
建て替え	整備費用	約34億円	
	内、国庫補助金	国庫補助金なし	約4億円
長寿命化改修 （躯体を残したまま、設備を一新する工事手法）	整備費用	約27億円 （教室数が少ないため、増築が必要）	約25億円
	内、国庫補助金	約2億円	

●高陵小を建て替えした場合が最も効果的であると考えています。
●建て替えによって、現代の教育環境に見合った施設づくりが出来るため、より教育環境の向上を図れます。

高陵小学校法面の安全性について

高陵小学校法面

高陵小学校配置図



- 法面調査の結果、通常時及び大地震時、かつ、長期にわたって「安定」評価を得ることができました。
- 今後も引き続き、点検やメンテナンス等、適切な維持管理に努めてまいります。
- 想定外の事象が発生しても避難所機能が維持できるよう、新校舎は法面から離れた場所、南側への配置を検討します。

通学路の安全確保についてのご意見

●中宮北小の児童は交通量の多い道路を横断して登校することになるが、通学路の安全確保はどうなるのか。

通学路の安全確保について

- 通学路は、学校、保護者の皆様と協議、検討を行い、より安全となる通学路の確保に努めます。
- 渚中宮線を渡る児童の安全確保を徹底いたします。
- 引き続き地域の見守り隊の協力をお願いします。
- 道路等の補修等が必要な箇所は対応していきます。

信号①

写真のように道路に注意喚起のペイント等を検討します。

信号②

関西外大　御殿山キャンパス前歩道

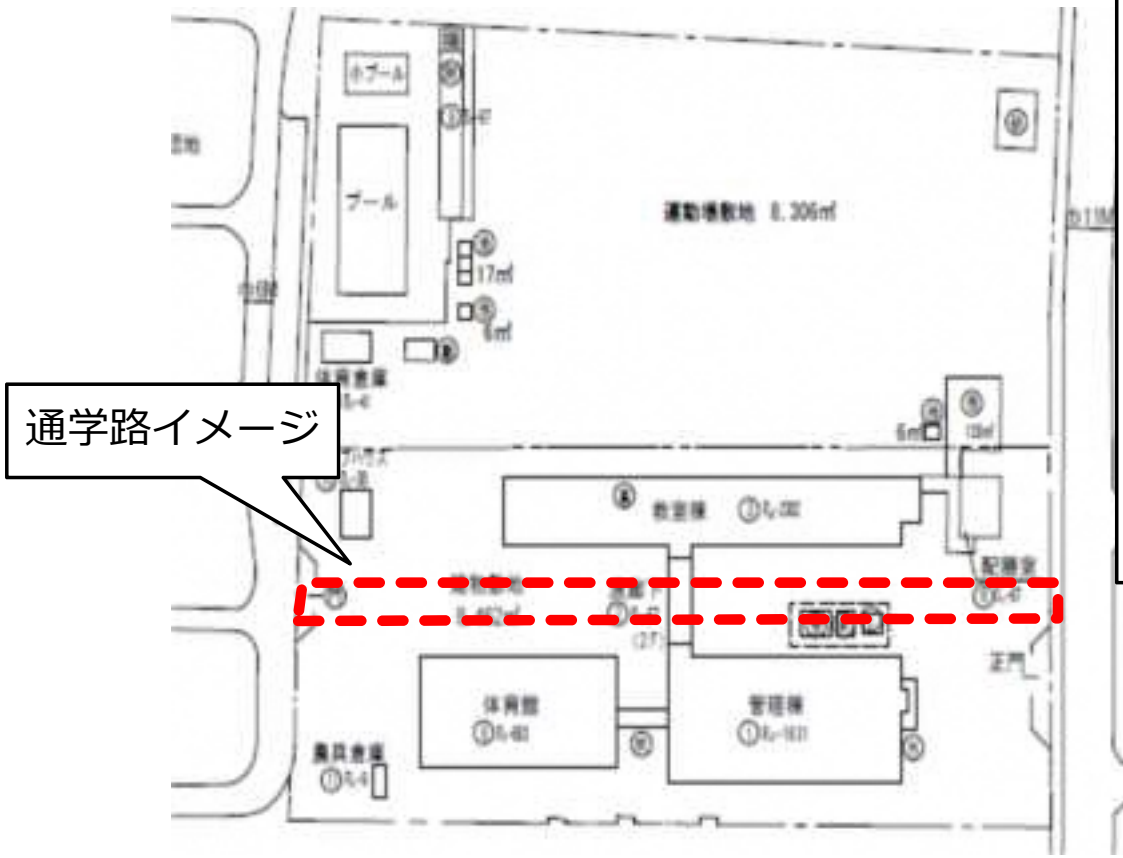
跡地利用についてのご意見

- 跡地に民間施設が建つのではないか。

- 学校は避難場所としても利用されている。これからどこに避難したらよいのか。

跡地活用について

＜中宮北小学校の跡地活用について＞



- 具体的な案は今後の課題ですが、跡地は、地域住民のご意見を十分にお聞きし、公的な施設を検討（跡地整備のための財源確保や不要地がでた場合は、一部売却の可能性はあります）
  【公的施設の一例】
  ・スポーツセンターの設置
  ・幼保連携施設の設置
  ・御殿山美術センターや総合福祉センターの移設　など

- 通学路を確保するよう検討

- 避難所機能や地域活動場所を確保するよう検討

教育委員会の考え方

- 新しい学校の設置場所は高陵小学校敷地が望ましいと考えています。

- 中宮北小学校の跡地活用と併せて、児童によりよい学習環境を提供するとともに、より利便性の高い街づくりを目指し、地域の魅力向上に繋げていきたいと考えています。